

# 災害時のTEC-FORCE等専門家派遣及び技術支援活動

## 1. はじめに

平成27年1月に国土交通省が「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」を公表したことに代表されるように、近年、自然的インパクトが局地化・集中化・激甚化していることは既に認識され、ハード・ソフト対策を総合し、被害を最小化するための取組みがより一層強く推進されてきている。そのうち、有力な手段の一つとして、国土交通省は平成20年にTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を創設し、被害の発生・拡大の防止や被災地の早期復旧等を目的として、その活動を積み重ねてきている。

## 2. 国総研のTEC-FORCE等活動

国総研に設置されたTEC-FORCEは、日々の研究等による蓄積をバックボーンに、判断がより複雑あるいは難しい事象や被害を主な対象とした『高度技術指導班』として活動する。主な役割は被害状況の調査

や施設の安全性評価に加え、二次災害防止のための高度な判断に基づく助言などである。

平成26年8月に広島市で発生した土砂災害では、未明の発生後、数時間後には現地へ移動を開始し、その日のうちに現地調査を実施した。その後、自衛隊、警察、消防による救助活動に対し、被災地への立ち入りが可能かの判断に技術的助言を行ったほか、住民や地方公共団体や地方整備局等からの相談に対し、専門家として積極的に応じた。

国総研は、TEC-FORCEとしての活動以外にも、被災地の地方公共団体や地方整備局等からの要請に対しても、TEC-FORCEと同様に、積極的な活動を継続している。また、要請や指示によらない自主派遣も行い、構造物の設計等に考慮すべき事象の調査など、社会資本の防災に関する技術力向上のための活動も行なっている。

表 平成26年度 専門家の派遣実績（平成26年12月時点）

対象災害	派遣日	派遣場所	派遣の位置付け	派遣者
6月7日大雨	6月12日	神奈川県横須賀市ハイランド1丁目	横須賀市要請	土砂災害研究部土砂災害研究室 主任研究官 松下 一樹 土砂災害研究部砂防研究室 係 長 角 岳志
台風8号	7月10日 ～7月11日	長野県南木曾町	中部地整要請	土砂災害研究部砂防研究室 室 長 蒲原 潤一
台風11号 （「平成26年8月豪雨」）	8月10日 ～8月11日	奈良県五條市 十津川村赤谷地区 栗平地区	近畿地整要請	土砂災害研究部土砂災害研究室 室 長 國友 優 土砂災害研究部砂防研究室 係 長 廣澤 元彦
台風12号 （「平成26年8月豪雨」）	8月8日	山口県岩国市新湊地区・ 多田地区	山口県要請	土砂災害研究部砂防研究室 主任研究官 内田 太郎 係 長 大知 寿徳
平成26年8月豪雨	8月20日 ～8月22日	京都府福知山市 兵庫県丹波市	自主調査	河川研究部水害研究室 室 長 伊藤 弘之 研 究 官 細田 悟史
8月16日から 続く大雨 （「平成26年8月豪雨」）	8月20日 ～9月8日  9月12日 ～9月17日 （交代制）	広島県広島市安佐南区 八木地区 他	中国地整要請 TEC-FORCE	土砂災害研究部 部 長 渡 正昭 深層崩壊対策研究官 長井 義樹 土砂災害研究部砂防研究室 室 長 蒲原 潤一 主任研究官 内田 太郎 研 究 官 松本 直樹 研 究 官 田中 健貴

対象災害	派遣日	派遣場所	派遣の位置付け	派遣者
				係 長 酒匂 俊輔 係 長 内田 拓治 土砂災害研究部土砂災害研究室 室 長 國友 優 主任研究官 松下 一樹 研 究 官 神山 嬢子 河川研究部河川研究室 室 長 服部 敦
8月16日から 続く大雨 (「平成26年8 月豪雨」)	9月16日	広島県広島市安佐南区 八木地区	自主調査	建築研究部 建築災害対策研究官 奥田 泰雄 建築研究部基準認証システム研究室 室 長 安藤 恒次
平成26年9 月11日低気 圧に伴う大雨	9月18日 ～9月19日	北海道千歳市	自主調査	道路構造物研究部道路基盤研究室 室 長 藪 雅行 研 究 官 榎本 忠夫 道路構造物研究部構造・基礎研究室 主任研究官 西田 秀明
御嶽山噴火	9月27日 ～9月29日	長野県木曾郡木曾町、 王滝村	土砂災害防止法 に基づく緊急調査	土砂災害研究部土砂災害研究室 室 長 國友 優
	10月2日 ～10月3日	長野県木曾郡木曾町、 王滝村	土砂災害防止法 に基づく緊急調査	土砂災害研究部 部 長 渡 正昭
	10月5日 ～10月7日	長野県木曾郡木曾町 王滝村	土砂災害防止法 に基づく緊急調査	土砂災害研究部土砂災害研究室 室 長 國友 優
	10月13日 ～10月15日	長野県木曾郡木曾町 王滝村	土砂災害防止法 に基づく緊急調査	土砂災害研究部 深層崩壊対策研究官 長井 義樹
台風18号	10月7日	茨城県筑西市 (小貝川)	自主調査	河川研究部河川研究室 主任研究官 森 啓年 研 究 官 福原 直樹 研 究 官 竹中 裕基 河川研究部水害研究室 研 究 官 細田 悟史
近畿管内 由 良川大川(八 田)地区堤防 沈下事故	11月24日 ～11月25日	京都府舞鶴市 (由良川大川地区)	近畿地整要請	河川研究部河川研究室 室 長 服部 敦 主任研究官 森 啓年 研 究 官 福原 直樹
長野県北部 地震	11月23日	長野県小谷村	北陸地整要請	土砂災害研究部砂防研究室 研 究 官 松本 直樹
	11月24日	長野県白馬村神城地区 等	本省要請	住宅研究部住宅生産研究室 主任研究官 中川 貴文
	11月26日	長野県白馬村神城地区	本省要請	建築研究部構造基準研究室 主任研究官 新井 洋
	11月26日	長野県長野市 (裾花ダム及び奥裾花ダ ム)	自主調査	河川研究部大規模河川構造物研究室 研 究 官 伊藤 壮志
	11月29日 ～11月30日	長野県白馬村神城地区	自主調査	住宅研究部住宅生産研究室 主任研究官 中川 貴文
12月12日か らの大雪等 による被害	12月19日 ～12月20日	北海道根室市	自主調査	沿岸海洋・防災研究部 主任研究官 熊谷 兼太郎

※災害直後の緊急的対応のみを掲載し、その後継続的に行われた応急復旧・本復旧に関する技術支援等は省略している。

※派遣者欄には、該当する国総研職員のみを記載している(所属・官職は派遣時のもの)